



心理学専修課程
パンフレット

2020夏

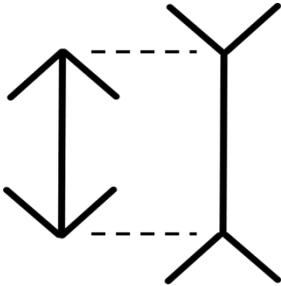
もくじ

【心理学って、なあに？】	…p2 - p4
【他の心理学系学科との違い】	…p5
【心理学研究室の様子】	…p6
【研究室・ゼミ】	…p7 - p15
【時間割・授業】	…p16 - p17
【Q & A コーナー】	…p18 - p19
【興味を持ったら……】	…p20
【From 心理学専修3、4年生】	…p21



心理学って、なあに？

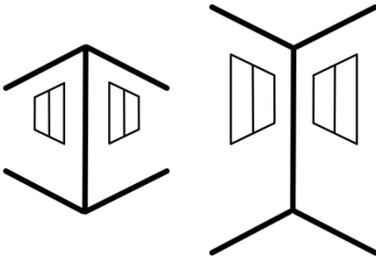
下の図形、左右どちらの垂直線が長く見える？



おそらく、右の垂直線のほうが長く見えたのではないのでしょうか。でも、実は2本とも同じ長さなんです（図の点線を見てください！）これはミュラー・リヤー錯視とよばれる錯視図形です。

「うわあ！すごい！目の錯覚ってふっしぎー！」

……で終わらないのが、私たちの勉強している心理学の特徴です。「なぜ錯覚が起きるの？」「どんなメリットが？」と、さらに深く考えます。下の図を見てみましょう（建物や部屋の一部分だと思ってください）。「出っ張っている」「凹んでいる」の中にミュラー・リヤー図形が隠れていますよね。だから、この錯覚は「立体的な形を理解



するために重要だ！」と考えられるんです。でも、この説明にも反論があって、この錯視が生じる本当の理由はまだ分かっていません。



心理学から学ぶ記憶のコツ

さて、もうひとつ具体例をご紹介します。

皆さんはマジカルナンバー 7 ± 2という言葉聞いたことがありますか？ これは「短期記憶において人間が記憶できる容量は7個まで」という法則です。± 2という数字が入っているのは個々人によって記憶容量に差があることを反映したものです。

ここまでは東大生の皆さんならご存知の方も多はず。

しかし心理学はここからさらに踏み込んで考えます。

「人間が記憶できる容量は7個まで」と言いましたが、この7「個」とは何を指すのでしょうか？ 文字数？ それとも別のまとまり？ 心理学ではこの単位を「チャンク」という概念で説明しています。

チャンクとは、簡単に言えば「情報のまとまり」のこと。例えば

「298」という数字の羅列を記憶する際、「298」と数字を1つずつ記憶すれば3チャンクとなりますが、「にくや（肉屋）」と当て字をしてしまえば1チャンクとなります。7というチャンクを増やすことは難しいのですが、このように1チャンク当たりの内容を増やすことで記憶容量が増すというわけです。皆さんも年号や電話番号を記憶するとき、語呂合わせで覚えようとした経験はありませんか？こんな身近なところでも心理学が活かされているんですね！



心理学って？

心理学と聞いて皆さんが真っ先に思い浮かべたのは、心理テストやカウンセリングだったのではないかと思います。でも、これらは臨床心理学という心理学の一分野（応用的な側面）に過ぎません。

一方で、「見る」「聞く」「覚える」「注意を払う」……といったことも全て、立派なところの働きです。前のページで紹介した「ミューラー・リヤー錯視」「マジカルナンバー 7 ± 2 」でも、「見る」「覚える」ところの働きの面白さを感じていただけたと思います。

私たちの勉強している心理学は、これらの基本的なところの働きを通して「ところとは何か？」を考える、**基礎心理学・実験心理学**とよばれる分野です。皆さんが「脳科学」に抱くイメージに近いかもしれません。

どんなことやってるの？

実験心理学と名がつくだけあって、とにかく実験（自分が実験に参加したり、実験を実施したり）をいっぱいやって、人間の脳やところの働きを探っていきます。研究対象こそ「ふわふわ」していますが、とことん科学的・客観的なアプローチを心がけています。（文学部ですが）理・工学部に近いかもしれません。

心理学研究室 HP <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/psy/>



他の心理学系学科との違い

(1) 社会心理学専修（文学部）と心理学専修

社会心理学専修では、対人関係など、社会のなかでの人のこころの働きについて研究しています。専修内定後の4学期は、心理学・社会心理学の内定者が合同で実験演習の授業を受けます。

(2) 教育心理学コース（教育学部）と心理学専修

教育心理学コースでは、カウンセリングなどの臨床心理学（心理学をどう役立てるか？）が中心です。臨床系を期待して心理学研究室に入っては「こんなはずじゃなかった！」となる人がたまにいます。専門を選ぶ時に間違えると取り返しがつかないので、しっかり情報を集めることをオススメします。

(3) 認知行動科学コース（教養学部）と心理学専修

理系のイメージが強い認知行動科学コースですが、心理学系の4学科のうち最も幅広い分野を扱っている学科でもあります。そのため、一部の研究内容は心理学専修にも非常に近く、心理学研究室と共同での研究も数多く行われています。その他、動物と人間のこころの働きを比較する研究も行われています。

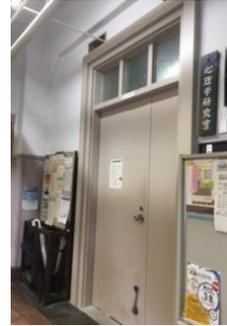


心理学研究室の様子

心理学研究室（事務室）

レポート提出、部屋の鍵・PCの貸し出しなどでお世話になる部屋です。

入口横の掲示板には、休講やテスト日程などの重要な連絡事項が貼り出されます。



学生控室



法文2号館地下にある、心理学専修の学生が自由に使える部屋です。

自由に使えるPCが4台あり、プリンタも使えるのが魅力。

無線LAN、冷暖房も完備。

実験室

3年生の実験演習の授業や4年生の卒業研究では、実験ブースを使用して実験を行います。写真は今水研の実験室です。



研究室・ゼミ

心理学研究室には4名の教授・准教授がおり、同じ実験心理学でもそれぞれが異なった分野の研究をしています。とはいえ、実際に何をやっているのか1,2年生の皆さんにはわかりにくいかもしれません。そこで、各教員の研究内容やゼミでの活動についてご紹介します。

教員紹介

1. 横澤研（横澤一彦教授・統合的認知）
2. 今水研（今水寛教授・学習機構）
3. 村上研（村上郁也教授・知覚心理学）
4. 鈴木研（鈴木敦命准教授・実験心理学）



1. 横澤研

研究室・ゼミ紹介

横澤研では、「視覚から得た様々な特徴や、視聴覚などの多感覚の情報をいかに結びつけているか？」という、統合的認知についての研究を進めています。共感覚（文字に色がついて見える現象）についての研究でも有名です。実は理系出身で学位も工学博士だとか。文理の枠にとらわれないのが心理だったりするのかもしれませんがね。



今年度のゼミでは『美感：感と知の統合』（三浦佳世・川畑秀明・横澤一彦著）および関連論文を輪読・発表し、それをもとに議論を行っています。学生同士の議論を重視し、目標は「先生が一言も喋らない」こと。非常に面倒見がよく、卒論指導でも頻繁に打ち合わせの機会を設けてくださいます。ちなみに心理学研究室で唯一ゼミ合宿が行われます(4年生のみ)。



ちょこっと研究紹介

ラバーバンド錯覚という現象を利用して、自分の手に氷が触れたように見えると、実際には触れていなくても冷たいと感じるなど、目で見えた情報が人の温度の感覚に影響を与えることを示した研究。東大文学部史上初の記者会見を行い、各メディアのニュースでも取り上げられました。



Kanaya, S., Matsushima, Y., & Yokosawa, K. (2012)

Does Seeing Ice Really Feel Cold?

Visual-Thermal Interaction under an Illusory Body-Ownership.

PLoS ONE, 7(11): e47293.

doi: <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0047293>

横澤研究室 HP <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~yokosawa/index-j.html>



2. 今水研

研究室・ゼミ紹介

今水研では、人がより良く生きるための知恵を生み出すことを目的として、認知学習や運動学習に関わる脳の仕組みを解明するとともに、学習や適応を支援する技術の開発を行っています。



今年度のゼミでは『計算論的神経科学：脳の運動制御・感覚 処理機構の理論的理解へ』（田中宏和著）および関連論文の輪読・発表が行われています。なかなか文系で学ぶことのできない分野についてじっくり考えるため、非常に刺激的です。また、ゼミの受講生は、この分野を学ぶ上で避けては通れない数式にも果敢に挑戦し、活発な議論が行われています。



ちょこっと研究紹介

小脳は学習の初期段階のみに関わる、という従来の考え方を大きく覆した研究。駒場キャンパスにも導入されている「MRI」という脳活動測定機器を利用して、小脳の内部モデルの活動について初めて検証しました。この論文は、科学の世界で最も有名な学術誌であるNature 誌に掲載されました。

Imamizu, H., Miyauchi, S., Tamada, T., Sasaki, Y., Takino, R., Putz, B.,
Yoshioka, T., & Kawato, M. (2000)
Human cerebellar activity reflecting an acquired internal model of a new tool.
Nature, 403, 192-195.
doi : <https://doi.org/10.1038/35003194>



3. 村上研

研究室・ゼミ紹介

村上研の主要テーマは、視覚を中心とした知覚メカニズムの解明です。また近年は文部科学省の新学術領域研究「時間生成学」のもとで、物理的な時間と知覚的な時間の関係についても研究が進められてきています。



今年度の村上ゼミは、『The Psychology of Visual Art: Eye, Brain and Art』（George Mather 著）を読んでいます。これは、数々の美術作品や美術の技巧にからめて、人間の視覚の心理学的・生物学的特性を平易に解説した本です。担当者が教科書および関連論文についてプレゼンテーションを行い、その後にディスカッションをしています。穏やかな雰囲気での発言しやすく、楽しくゼミに参加することができます。



ちょこっと研究紹介

ジター錯視という、「実際は動いていないのに、動いて見える」新しい錯視現象を発見・報告した研究。この錯視が生じる理由は、固視微動という気づかないほど小さな（でも、常に生じている）眼球の動きにあります。この論文も Nature 誌に掲載されました。ジター錯視のデモは、以下のサイトで公開されています。

(<http://www.kecl.ntt.co.jp/IllusionForum/v/visualJitter/ja/>)

Murakami, I. & Cavanagh, P. (1998)

A jitter after-effect reveals motion-based stabilization of vision.

Nature, 395, 798-801.

doi : <https://doi.org/10.1038/27435>

村上研究室 HP <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~ikuya/>



4. 鈴木研

研究室・ゼミ紹介

鈴木研では、主に対人認知とエイジングについて研究しています。私たちが人の心をどう判断しているのか、人の心は年齢とともにどう変わる（変わらない）のかを調べ、世代間交流・理解を促進するヒントを探っています。



鈴木研究室は 2017 年度に立ち上がった、心理学専修で最も新しい研究室です。

今年度のゼミでは、『Psychology of emotion (2nd ed.)』(Paula M. Niedenthal & François Ric 著)の輪読・発表を行っています。また、卒論生による卒業研究に関する発表も行っています。これらの発表では、こころを研究することの楽しさ・難しさに触れることを目標とし、人間の判断や行動の特徴、メカニズムに関して幅広い内容を扱います。



ちょこっと研究紹介

高齢者と若年者を参加者とする心理実験をおこない、人の信頼性を判断する際に顔の見た目と過去の行為から影響を受ける程度を比較した研究。高齢者は見た目で人を信頼し続ける傾向が若年者に比べて高いこと、つまり、過去に自分を幾度となく裏切った人であっても信頼できる顔であれば信頼しがちであることが示唆されました。朝日新聞や中日新聞などのメディアでも取り上げられた研究です。

Suzuki, A. (2016)

Persistent reliance on facial appearance among older adults
when judging someone's trustworthiness.

Journals of Gerontology Series B: Psychological Sciences and Social Sciences, 73,
573-583.

doi: <https://doi.org/10.1093/geronb/gbw034>

鈴木研究室 HP <https://sites.google.com/site/atsunobusuzukilab/home>



時間割・授業

時間割例その1 (Kさん・2019年度夏学期)

	月	火	水	木	金
1					
2	心理学 特殊講義	心理学統計	社会心理学 概論	心理学 特殊講義	電算機応用
3	哲学概論	心理学演習	情報 メディア論	死生学	心理学 実験演習
4		心理学 特殊講義	心理学 特殊講義		
5	美学芸術学 特殊講義	心理学概論	心理学 特殊講義		死生学 特殊講義

心理学概論 (必修)

心理学史・研究法について、通年(2年A Semester～3年S Semester)で学習します。同じ学科の友人が一同に会する貴重な機会でもあります。

心理学実験演習 (必修)

グループに分かれてさまざまな心理実験を実際に行い、卒論に向けて、実験の手順やデータの分析手法、レポートの書き方などを学びます。2年A Semesterに実験演習Ⅰ、3年次に実験演習Ⅱ～Ⅴを履修します。



時間割例その2 (Sさん・2019年度冬学期)

	月	火	水	木	金
1					
2	心理学 特殊講義			創造性の 心理学	電算機応用
3	心理学 特殊講義	心理学演習		社会とダイ バーシティ	心理学実験 演習
4		心理学 特殊講義		心理学特殊 講義	
5		ストレス マネジメント			

心理学演習 (必修)

いわゆるゼミと呼ばれる授業です。心理学に関する英語の専門書・論文を1年間かけて輪読します。出席だけでなく、自発的な発言が求められます。

心理学統計・電算機応用

実験データの分析に必要な統計・プログラミングの基礎を学びます。苦手意識を持っている人が多いですが、文系の学生に向けた授業なので心配無用です。

心理学特殊講義

心理学の最先端のテーマを学ぶ授業です。扱う内容は先生の専門分野によって様々です。



Q & Aコーナー

Q. 進学選択の点数はどのくらい必要？

A. 例年の底点は70点に少し届かないあたり。決して高いハードルではありませんが、定員割れすることはないので希望者全員が入れるわけではないです。

Q. どのくらい忙しい？

A. そこそこ忙しいです。授業はあまり大変ではないですが、授業時間外に実験やレポートをやるなど、課題が多い感じです。しかし、部活・サークルやバイトとの両立は十分に可能です。3年次に単位を多めにとり、4年次の授業は週1コマ（ゼミだけ）という人もいます。

Q. 文3以外から来る人はいるの？

A. 内容が若干理系っぽいこともあって、理系から来る人も毎年2~3名ほどいます。また、文1や文2から来る人も。でも、文3出身でなくても不利になることはありません。むしろ理系の人は統計を使う場面などで経験を活かせるでしょう。

Q. 教授は厳しい？

A. 厳しくはありません。お叱りを受けるのは、授業の準備やレポートの提出といった大学生として最低限のことができない場合くらいです。



Q. 雰囲気はどんな感じ？

A. 心理学研究室には「学生控室」というものがあり、学生が自由に使えるパソコン（4台）やプリンタ、心理学・就活関係の本、さらには漫画まで置いてあります。授業の空き時間には控室でレポートを書いたり、くつろいだりとみんな思い思いに過ごしています。少人数でTAである大学院生に教えてもらう授業もあるので学部学生と大学院生の仲も良いです。

Q. 卒業後の進路は？

A. 毎年数名が大学院へ進学し、多くの学生が就職します。近年の卒業生の就職先としては、金融（例：三菱UFJ銀行、住友生命）、商社（例：三井物産、三菱商事）、インフラ（例：日本郵便、JR東海）、コンサル（例：アクセンチュア、野村総合研究所）等の企業と、多岐にわたっています。

就職活動で心理学が直接役立つことは少ないようですが、WordやExcelを使ってレポートを書いたり、統計やプログラミングを勉強したりするので、入社後に役立つスキルが身に付くと思います。また、面接の時に、心理学に興味を持ってもらえることも多いようです。

Q. 心理学を勉強すると、人の心が読めるようになりますか？

A. なりません。だけど、初対面の人に聞かれたら、「読めます」って答えておくと非常に喜んでもらえるのでオススメです。



興味を持ったら……

(1) 心理学系の授業を受けてみよう！

前期課程にも、実験心理学を扱った授業が開講されています。

- ・ **心理Ⅰ**（人文科学）：知覚・認知心理学の話題を幅広く
- ・ **認知脳科学**（総合D）：視知覚と脳の働きを深く学ぶ
- ・ **情報認知科学**（総合D）：記憶、思考などのテーマを扱う
- ・ **基礎統計**（総合F）：後期の統計で苦労しないために

(2) 心理学に関する本を読んでみよう！

心理学専修の先生が書いた教科書も参考になるかも……

- ・ 横澤一彦『**視覚科学**』 勁草書房
- ・ 村上郁也『**Progress & Application 知覚心理学**』 サイエンス社

(3) ガイダンス。オープンハウスで話を聞こう！

やっぱり、実際の先輩・先生に聞きたいことを聞くのが、授業よりも本よりも参考になるはず。進学選択の直前に「あれ、聞いてけばよかった！」とならないよう、チャンスがあったら積極的に飛び込んでいきましょう。お待ちしております！

※今年メールによる質問を受け付けることになりました。



From 心理学専修3、4年生

To 駒場の皆さん

レポートは少し大変ですが、みんなで力を合わせれば、なんてことはないです！！人・ヒトに興味がある方にとっては楽しい学科だと思います！

(3年 T.S.)

文系的な「人間」や理系的な「ヒト」を、文理のいいところ取りな手法で思い思いに扱う学科です！

ご興味あれば是非^^

(3年 M.A)

人間に興味がある人、実験がしたい人、文理の壁を問わずみんなにおすすめの学科です！本郷でお待ちしております！！

(3年 K.M.)

就活にも強い学科だと思います！最高の仲間たちに囲まれて、楽しい2年間を過ごせました！この学科で本当によかったと思います！！

(4年 T.N.)



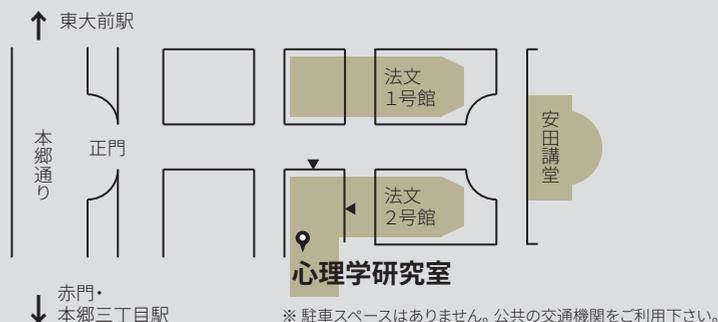
※表紙・・・ランダムドットステレオグラム(RDS)。一見ノイズのようにはか見えないが、左右の目でそれぞれ 1 枚ずつ見るように焦点を合わせることで立体が浮かび上がってくる画像。表紙の画像は心理学にとっての永遠の課題、「心」が浮かび上がってきます！

東京大学には、心理学の研究室が多数あります。当研究室は、心理学のあまたある分野の中でも、基礎心理学を志向した研究室です。当研究室の他に、文学部・人文社会系研究科には**社会心理学研究室**があります。教育学部・教育学研究科には**教育心理学研究室**や**臨床心理学研究室**が、駒場の教養学部・総合文化研究科には**認知行動科学研究室**があります。このほか、情報学環・医学部・工学部などでも、心理学に関する研究が行なわれています。詳しくは、それぞれのホームページ等をご覧ください。

アクセス

東京メトロ丸ノ内線・都営大江戸線 本郷三丁目駅より 徒歩12分
東京メトロ南北線 東大前駅より 徒歩12分
都営三田線 春日駅より 徒歩15分

東京大学本郷キャンパス 法文2号館 1階 2111号室



大学院入試(修士課程・博士課程)について

日程や募集要項については、人文社会系研究科のホームページ (<http://www.L.u-tokyo.ac.jp>) をご覧ください。大学院入試の手続きに関することは、人文社会系研究科大学院係(電話 03-5841-3710 / 電子メール in@L.u-tokyo.ac.jp) にお問い合わせください。例年、大学院入試説明会を開催しています。開催日程等は上記の人文社会系研究科ホームページでご確認ください。

前期課程(駒場)からの進学について

例年、駒場で前期課程学生を対象とした文学部ガイダンスが開催されています。詳しくは、文学部ホームページ (<http://www.L.u-tokyo.ac.jp>) などでご確認ください。

所蔵資料(書籍等)の利用を希望される方

東京大学附属図書館ホームページ (<http://lib.u-tokyo.ac.jp>) で資料の所蔵の有無と利用方法をご確認下さい。資料の取り寄せ(複写・原本)については、ご自身の所属機関の図書館・室にご相談ください。

東京大学文学部・大学院人文社会系研究科

心理学研究室

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

tel 03-5841-3861 (平日10~17時)

fax 03-5841-8969

e-mail shinri@L.u-tokyo.ac.jp

Department of Psychology

Graduate School of Humanities and Sociology
The University of Tokyo

7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo
113-0033 Japan

phone +81-3-5841-3861

fax +81-3-5841-8969

e-mail shinri@L.u-tokyo.ac.jp

心について 科学的に考えてみたこと ありますか？

東京大学文学部・大学院人文社会系研究科

心理学研究室



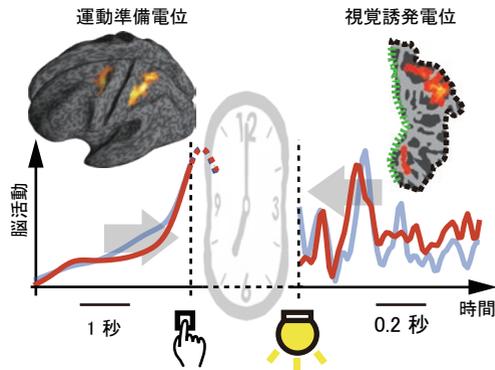
最近の研究成果から

脳の中でシフトする時間

運動とその結果を結びつける心理的な時間圧縮



スイッチを押してから部屋の明かりがつくまでに、一定の時間差がある場合があります。しかし、何回もスイッチを操作したことのある自分の部屋では、時間差はほとんど感じられなくなっています。この研究では、人間の脳活動を高い時間分解能で調べる脳磁図と、高い空間分解能で調べる機能的磁気共鳴画像法を用いて、この心理的な時間圧縮に対応する脳活動の変化を調べました。その結果、運動の準備に関わる脳活動(運動準備電位)のタイミングが遅れ、逆に、明かりの点灯によって誘発される脳活動(視覚誘発電位)のタイミングは早くなることを発見しました。



【今水寛(教授)、蔡暢(ATR研究員)、河内山隆紀(ATR研究員)、小川健二(北海道大学准教授)、田中宏和(北陸先端科学技術大学院大学准教授)による共同研究。NeuroImage 172 pp.654-662】

課題無関連な区切り枠が数量判断を促進

区切り枠によって、正確で効率的になることを実証



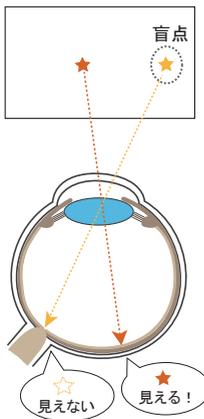
私たちが対象物の数量を数え上げたり、大まかな数量を推定したりする場合、一般的には、正確さを重視する場合は時間がかかる一方、スピードを重視する場合は正確さを犠牲しなければなりません。ところが、正確かつ迅速な数量判断が求められる状況は多く、緊急時・避難時の人数把握などの場面では特に重要です。この研究では、数量判断の効率を実験心理学の手法を用いて調べました。その結果、対象物が存在する領域内に区切り枠を加えると、数量判断の正確さや効率が著しく向上することが明らかになりました。



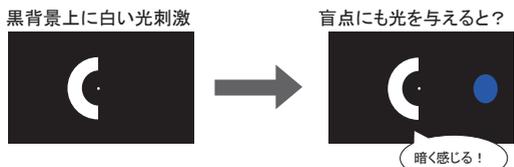
【李琦(助教)、中島亮一(助教)、横澤一彦(教授)による共同研究。Scientific Reports 8:15620】

目に見えない光で、明るさが変わる

盲点内部に光を当てると通常視野の光刺激が暗く知覚されることを発見



網膜には光を感じる視細胞が存在し、これらが光を受けとることで私たちは光を認識することができます。しかし、網膜の中には視細胞が一切存在しない小さな場所があり、そこに直接当たった光は見えません。この場所は視野上でいう盲点です。ところが、盲点に光を当てると、その光自体は見えないのに、ほかの場所の光刺激の明るさが暗く感じられてしまうということがわかりました。盲点に照射される光は「無駄なもの」ではなく、何らかの仕組みで受容され、私たちの視覚世界に影響を与えようと考えられます。



【齋藤真里菜(大学院生)、宮本健太郎(東京大学大学院医学系研究科研究員、Oxford大学研究員)、内山雄佑(学部生)、村上郁也(教授)による共同研究。Scientific Reports 8:7540】

顔の印象を無視することの難しさとエイジング

高齢者は信頼できそうな顔を信頼し続けやすい?



私たちは、他人の顔を見ると「信頼できそう(できなさそう)」といった印象を直感的に抱きます。このような第一印象の影響は、実際に協力されたり裏切られたりした後は消えるのでしょうか? お金を増やしてくれる「良い人」と横領する「悪い人」の区別を覚えるという実験を、高齢者と若年者を対象に行った結果、「信頼できそうな顔の人 = 良い人」と判断し続けやすい傾向が高齢者だけで見られました。顔の印象を無視することの難しさには、年齢による違いがあるようです。



【鈴木敦命(准教授)による研究。The Journals of Gerontology, Series B: Psychological Sciences and Social Sciences 73 pp.573-583】

心のふしぎ。 脳の驚異。 人間という謎。

私たち東京大学心理学研究室は、1903年に設立された日本最初の心理学研究室です。100年以上にわたって心の科学的研究にとり組み、世界最先端の研究成果をあげながら、日本の基礎心理学をリードしてきました。

人類最後の、そして最大のフロンティアとも言われる、心と脳。そのしくみを科学的に理解することは、現代のテクノロジーをもってしてもきわめて難しい課題です。永遠に解けない謎かも知れません。私たちはこれからも根気よく、一步一步実証的に、心に挑みつづけます。——100年後、1000年後の人類のために。

Research

知覚・注意・記憶・アクションプランニング・感情・対人認知などの人間の精神現象を、心理物理学的手法、脳科学的手法、認知科学的手法により研究しています。心理学にはさまざまな分野がありますが、当研究室は其中でも特に、知覚・認知・運動の過程を実証の実験によって明らかにする基礎研究に中心を置いています。

心理学研究室には教授・准教授・助教の教員のほか、研究員、大学院生、学部学生、研究生ら総勢70名ほどが所属し、それぞれ研究活動を行なっています。教授・准教授がそれぞれラボを主宰し、研究員や学生はそれぞれのラボに所属しています。

教員や研究員、大学院生は国内外の関係諸学会に所属して活動し、学会発表や研究論文などの形で研究成果を発信しています。当研究室の研究成果は高いインパクトファクターの国際論文誌に掲載され、多くの研究論文で引用されています。シンポジウム等で特別講演を依頼されることも多く、東京大学の他研究科や他大学・研究所とも交流があり、共同研究も活発に行なわれています。

研究

教育

心理学研究室には、毎年、駒場の教養学部前期課程から25名程度の学生が進学します。多くは文科III類からの進学ですが、理科からの進学も珍しくありません。

学部3・4年次には、演習や講義で幅広い知識を身につけるとともに、実験演習で数々の実験を行なってレポートを書き、実験機器の操作方法やデータ解析方法を学びます。最終年次には卒業論文研究に取り組みます。教員の指導のもとでオリジナルの実験研究を実施し、論文にまとめ、卒業論文発表会で成果発表を行ないます。

卒業生の多くは就職しますが、1~2割ほどは大学院に進学し、当研究室もしくは学内外の他研究室の大学院生になっています。就職先はマスコミ・金融・商社・製造業・官公庁など、きわめて多彩です。

大学院教育では、学内外の研究設備を活用する機会や、国内外の研究者との研究交流の機会を促進し、指導体制の充実を図っています。修士(心理学)、博士(心理学)の学位を得て、研究者や大学教員として活躍しています。

Education